

社協職連協にゅ〜す



第22号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会
平成21年9月30日 発行

21年度も

順調にスタート…

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会の役員も二年目を迎えました。会員の皆さまには、近年の福祉ニーズの多様化による、事業拡大や新規事業への対応、また、財政状況による創意工夫など、厳しい状況でのご支援ご協力に感謝申し上げます。職連協としても、会員一人ひとりに必要とされる組織を目指し、研修会の充実やあり方検討委員会での組織のあり方の検討などに取り組んでいます。

主な事業計画



- 調査・研究・提言事業
職連協あり方検討委員会
- 研修事業
職員全体研修会・親任職員研修
- 広報活動
職連協広報紙発行・ホームページ
- 支部活動活性化事業
支部活動助成事業の実施

今後とも、職連協運営につきましてご支援ご協力をお願いいたします。

など



ことができました。



▲御前山青少年旅行村



▲仲間づくりの大切さとは…（演習での一コマ）

新任・初級研修（前期課程）

平成21年度 県市町村社会福祉協議会職員

7月14日、御前山青少年旅行村（常陸大宮市下伊勢畑）を会場に、県市町村社会福祉協議会職員新任・初級研修（前期課程）を開催しました。県内19の社

～新任・初級研修参加者の声～

- ・改めて社協の必要性を知った。
- ・参加者の考えを聞き、仕事への目標など刺激になる事がたくさんあった。
- ・社協はやろうと思ったら何でも出来るという言葉が印象深かった。
- ・様々なゲームを通して仲間づくりができた。BGMもリラックスできた。
- ・実技演習は、印象に残った。
- ・班ごとの協働作業が良かった。

- ・いろいろな社協の方と意見交換ができてためになった。
- ・これからの自分の業務への参考となる体験談でした。
- ・社協としてだけではなく、社会人としての知識も学びました。
- ・専門的で少し難しかった…

聞いてみました！（受講者アンケートから）
研修の満足度【100点満点中】**89.3点**



ソーシャル・ケースワーク基礎研修

8月27日(木) 取手市福祉交流センターにおいて、職連協全体研修Ⅱ「ソーシャル・ケースワーク基礎研修」を、浦和大学の對馬(つしま)節子教授を講師としてお招きし、38名参加のもと開催いたしました。研修では「相談ケースを立体的にとらえる」をキーワードに、相手を知り相手の良さ(力)を引き出し解決に導くことなどについて、講義と演習を通じて体験的に学びました。

各グループで事例を挙げ、その事例が抱える問題点を列挙し、その問題点(マイナスイメージ)をプラスに捉え直して支援に結びつけるテクニックは、参加者に新たな気づきを与えたものとなりました。プラス面を維持・強化しつつ、悪化・危険を防止するため優先順位を決定し、具体的対策を練ることの重要性、難しさを学ぶことができました。



▲對馬教授からアドバイスを受ける参加者

ソーシャル・ケースワーク基礎研修参加者の声

- ・多角的にとらえる方法を体験できた。
- ・人の見方が色々できると再確認できた。
- ・今後の相談業務に生かしていきたい。
- ・大学で講義を受けているようで、興味深い研修であった。
- ・様々なケースへの考え方、とらえ方の手法(立体的)参考になった。
- ・難しい内容であったが、専門的な講義を体験できた。

- ・自分の見解を変化出来た。
- ・シリーズ化して数回受講したい。
- ・講義だけの研修より演習があるとより身につきます。 外多数

～アンケート～ (n=38)

研修の実施について

- ・平日(月～金)が良い 33/38
- ・日帰りが良い 28/38
- ・業務命令で参加している 26/38

聞いてみました!(受講者アンケートから)
研修の満足度【100点満点中】 **82.6点**



職連協あり方検討委員会

昭和49年に設立された茨城社会福祉協議会職員連絡協議会(職連協)。これまで、多くの先輩方が、県内の社協職員の活動を促進することを目的に、研修会や各種イベントを展開してきました。設立から年月が経過した今、職連協はどうあるべきかについて、「茨城社会福祉協議会あり方検討委員会」を設置して、から8回にわたり議論を重ねてまいりました。

あり方検討委員会は、職連協組の存在の必要から始まり、組織的に抱えていくべき課題についてその示唆する議論を交わしています。議論としては、近く理事会に答申書として提出される予定です。

最終段階協議
職連協あり方検討委員会

昨年11月より議論を交わしました。委員会では、職連協の存在の検討、職連協が組むべき課題、方向性を示す結果について、答申書として提出される予定です。

期日	内容(仮定)
H20 9.24	理事会・代議員会にて委員会設置の承認
11.28	第1回委員会 課題の抽出
H21 1.8	第2回委員会 正副委員長選出 職連協の必要性・加入のメリット
2.13	第3回委員会 会員意識・各社協における位置づけ
5.13	第4回委員会 活動助成金の活用方法・積立金
6.10	第5回委員会 支部区割 各支部と職連協本部のすみ分け
7.8	第6回委員会 役員改選に伴う事務停滞への対応
8.11	第7回委員会 改善事項の実施と周知方法の検討
9.16	第8回委員会 検討事項の整理と体系化

今後の予定

- ・市町村社協一覧、名簿作成
- ・広報紙発行「職連協にゆーす」
- ・職連協あり方検討委員会
答申後の対応
- ・職連協全体研修会Ⅰ開催 など

編集後記

今年の夏は例年に、比べ冷夏などと呼ばれ、各地で梅雨明けが遅かったり、晴れの日が少なかったり、夏の季節感を味わうのが少なかった気がします。さて、そんな夏らしくない夏でしたが、我々社協マンは常に熱い思いで、全力で突き進みたいですね。職連協では、そんな熱い思いを大切に、それぞれの目的に沿ったスキルアップを目指して、各種研修会など充実した力注いでおります。

今年度予定しております事業もまだまだ沢山ございますので、今後とも職連協にご支援ご協力をお願い申し上げます。

編集担当 県西地区